



2017年1月27日

プレスリリース

現代美術 艸居

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町381-2

開廊時間：火-土 10:00 - 18:00

※2月5日(日)は開廊いたします。

TEL: 075-746-4456 FAX: 075-746-4457

info@gallery-sokyo.jp

川端健太郎 「Hello from the Hollows 2」

2017年2月3日(金) - 2月25日(土)

レセプション: 2月3日(金) 17:00 - 19:00

現代美術艸居では、川端健太郎「Hello from the Hollows 2」展を開催致します。

本展では2012年から始まる「Soos」シリーズの新作を発表致します。

岐阜県瑞浪市に窯を構える川端は、葉の茂る山々を眺め、風の音に耳を澄ませ、四季の循環に身を置きながら作陶を続けています。一本の植物が芽吹き、花を付け種を落として枯れてゆく。そしてその種がまた次の新たな生命につながっていくという、自然界が持つこの循環作用を、川端は自身の制作スタイルに取り入れています。

「Soos」のSoとは「草」のこと。そこに続くosは「operating system」、つまり植物が備えている生命の循環プログラムを表しています。

今までの作品造形で削り取られた土の断片たちの新たな活かし方を模索する中でふと、工房に次々芽吹く雑草の力強い生命力に改めて感じ入った川端。その気づきをきっかけに、春の新緑や冬に枯れゆく草木の色など、移ろう時間を纏わせた新たなシリーズ「Soos」が誕生しました。まるで植物が持つシステムのように、土を次の作品の生命へと昇華させていくこと。それは、私たち人間が自然の一部であり、大きな循環の中で生きているということを教えてくれるかのようです。弊廊での初個展となります本展にて、自然の中で五感を澄ませて生きる作家の感性を、作品を通じてご覧いただけましたら幸いです。

川端 健太郎 (かわばた けんたろう)

1976年埼玉県生まれ。多治見市陶磁器意匠研究所卒業。2007年パラミタ陶芸大賞展大賞受賞。ミネアポリス美術館(アメリカ)、アナドル大学美術館(トルコ)、益子陶芸美術館等に収蔵。

お問い合わせ

展覧会: 亀川 kamegawa@gallery-sokyo.jp

プレス: 井澤 izawa@gallery-sokyo.jp

画像: Soos, 2016, 磁土, H64×W55×D35cm

現代美術 艸居 〒605-0089 京都市東山区元町 381-2

Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089

T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp